

## Max Signal<sup>®</sup> マイコトキシシ ELISA テスト

Max Signal マイコトキシシ ELISA テストシリーズは、食品や飼料などにおけるマイコトキシシ汚染をスクリーニング検出あるいは定量する ELISA キットです。

メーカーの BIOO Scientific Inc.社は米国に本拠を置きますが、抗菌性物質 ELISA テストも含め世界的に数多くの実績を有しています。

マイコトキシシシリーズは、簡単な抽出精製後、約 60 分前後の ELISA 操作で高感度のスクリーニング試験や簡易定量が可能です。

(製造 : PerkinElmer (BIOO Scientific) 米国)

Rev.2019.11

商品名	Max Signal マイコトキシシ ELISA テストシリーズ 96well 各 68,000 円 (税別)			
価格	トータルアフラトキシシ	3245BS1030	T-2 トキシシ	3245BS1037
	トータルアフラトキシシ	3245BS103B	ゼアラレノン	3245BS1035
	デオキシニパレノール(DON)	3245BS1064	オクラトキシシ A	3245BS1036

アフラトキシシ M1 はトータルアフラトキシシキットでも検出されますが、別途専用のキットがあります。

保管条件 冷蔵 2~8℃ 長期未使用の場合は一部冷凍

製品内容  
マイクロプレート 96 ウェル (8×12 ストリップ)  
標準液 (ゼロ標準+5 濃度)、添加試験スパイク溶液  
酵素複合体 (抗体/抗原)、希釈液、発色基質  
反応停止液、洗浄濃縮液、抽出バッファーなど  
(キットにより内容が異なります)



目的・用途 競合 ELISA 法による食品/飼料中のマイコトキシシのスクリーニング検出・定量

原理・性能 ELISA (競合) 法 (検出感度、測定範囲および交差反応は別表をご覧ください)

他に必要な試薬器材  
マイクロピペット&チップ、ボルテックス、遠心分離機  
マイクロプレートリーダー450nm、洗浄ピンあるいはウォッシャー  
抽出用器材 1 式、蒸留水、メタノール (詳細は別途ご確認ください)

### トータルアフラトキシシ キット(3245BS1030)の操作方法 (Ver.1030-07 rev.A)

ELISA  
事前に試薬類を室温に戻し必要な試薬は調製しておく

- ①適宜ウェルに標準、試料を 50 μL 滴下  
酵素複合体を 100 μL 滴下、混合してインキュベート 30 分  
⇒ウェル洗浄
- ②発色基質を 100 μL 滴下、混合してインキュベート 15 分
- ③反応停止液を 100 μL 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### トータルアフラトキシシ キット(3245BS103B)の操作方法 (Ver.1030-08 rev.B)

ELISA  
事前に試薬類を室温に戻し必要な試薬は調製しておく

- ①調製用プレートの適宜ウェルに標準、試料を 50 μL 滴下
- ②調製用プレートの全ウェルに酵素複合体を 100 μL 滴下、10 回混合
- ③マルチチャンネルピペットで、各ウェル 150 μL を反应用プレートに移送  
インキュベート 10 分  
⇒ウェル洗浄
- ④発色基質を 100 μL 滴下、1 分間混合してインキュベート 5 分
- ⑤反応停止液を 100 μL 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### デオキシニバレノール キットの操作方法 (Ver.1064-03A)

- ELISA  
事前に試薬類を室温に戻し必要な試薬は調製しておく
- ①適宜ウェルに標準、試料を 100  $\mu$ L 滴下  
酵素複合体を 50  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 10 分  
⇒ウェル洗浄
  - ②発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 5 分
  - ③反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する

### ゼアラレノン キット(Ver1035-03A)、T-2 トキシン(Ver.1037-03)、オクラトキシ A キット(Ver.1036-04A)

- ELISA  
事前に試薬類を室温に戻し必要な試薬は調製しておく
- ①適宜ウェルに標準、試料を 50  $\mu$ L 滴下  
酵素複合体を 100  $\mu$ L 滴下※1、1 分間混合してインキュベート 10 分  
⇒ウェル洗浄
  - ②発色基質を 100  $\mu$ L 滴下、1 分間混合してインキュベート 5 分
  - ③反応停止液を 100  $\mu$ L 滴下、吸光度 450nm を測定し、濃度計算する
- ※1 : オクラトキシ A=50  $\mu$ L

### 試料の前処理方法

キットおよび試料により異なります。別途お問合せください。

### 各キットの性能

#### トータルアフラトキシ A キット (3245BS1030) (Ver.1030-07 revA)

標準液濃度 ゼロ, 0.02, 0.06, 0.2, 0.6, 1.5 ppb  
 検出限界 穀類/種実/食用油 0.8ppb 肉/ピーナツバター 0.4ppb 飼料 1.3ppb ミルク 0.04ppb  
 交差反応(%) Aflatoxin B<sub>1</sub>= 100%, B<sub>2</sub>= 26%, G<sub>1</sub>= 46%, G<sub>2</sub>= 28%, M<sub>1</sub>= 70%

#### トータルアフラトキシ B キット (3245BS103B) (Ver.1030-08 revB)

標準液濃度 ゼロ, 0.05, 0.25, 0.75, 2.5, 10 ppb  
 検出限界 穀類/種実/肉/飼料/ピーナツバター 1.0ppb ミルク 0.1ppb  
 交差反応(%) Aflatoxin B<sub>1</sub>= 100%, B<sub>2</sub>= 44%, G<sub>1</sub>= 92%, G<sub>2</sub>= 48%, M<sub>1</sub>= >100%

#### デオキシニバレノール(DON) (Ver.1064-03A) **NEW**

標準液濃度 ゼロ, 7.5, 15, 30, 60, 120 ppb  
 検出限界 抽出①法 飼料 224ppb 干魚 211ppb  
 抽出②法 飼料 49ppb 干魚 66ppb 種実 214ppb  
 交差反応(%) DON= 100%, 15-Ac-DON=40%

#### T-2 トキシン (Ver.1037-03)

標準液濃度 ゼロ, 1, 5, 10, 25, 50 ppb  
 検出限界 ミルク 10ppb  
 交差反応(%) T-2 トキシン= 100%

#### ゼアラレノン (Ver1035-03A)

標準液濃度 ゼロ, 0.25, 0.5, 1.0, 2.0, 4.0 ppb  
 検出限界 穀類/飼料/種実 5ppb ミルク 5ppb  
 交差反応(%) Zearalenone= 100%,  $\alpha$ -Zearalenol,  $\beta$ -Zearalenol,  $\beta$ -Zearalanol= >100%,

#### オクラトキシ A (Ver.1036-04A)

標準液濃度 ゼロ, 0.2, 0.4, 0.6, 0.8, 1.0 ppb  
 検出限界 飼料/種実/干魚/オーツ麦 2ppb  
 交差反応(%) Ochratoxin A= 100%, B= 9%  
 濃度換算スプレッドシートはプラクティカルまでお問い合わせください。

吸光度測定には、フルオート型

### ChroMate プレートリーダー

定価 360,000 円 (消費税別) がお勧めです。

**CHROMATE**

